

もくじ



はじめに
「慣用句」とは？
この辞典のつかい方

2 6 7

青田買い

ありのはい出るすきもない

一目置く

先手を打つ

駄目を押す

一石を投じる

糸を引く

いばらの道

いもを洗うよう

うだつが上がらない

うなぎの寝床

からすの行水

8 10 12 13 13 14 16 18 20 22 24 26

くちばしが黄色い
ごまをする
さしみのつま

すしづめ

しつぽをまく

しつぽをふる

触手をのばす

たががゆるむ

つめをとぐ

二番せんじ

ねこばばをきめこむ

花も実もある

羽をのばす

火花を散らす

反りが合わない

つばぜり合い

28 30 32 33 34 35 36 38 40 42 44 46 48 50 52 52

しのぎをけずる	53
元のさやにおさまる	53
ピントがはずれる	54
ふるいにかける	56
焼け石に水	58
横紙破り	60
いずれがあやめかきつばた	63
犬の遠ぼえ	64
雨後のたけのこ	65
うのみにする	66
うり二つ	67
おけらになる	68
閑古鳥が鳴く	69
くもの子を散らすように	70
さぎをからすと云いくるめる	71
しやちほこぼる	72
つじつまを合わせる	73
つるの一声	74
てんぐになる	75

にべもない	76
さばを読む	76
はくがつく	77
的を射る	78
芽が出る	79
もぬけのから	80
あいづちを打つ	81
足元を見る	81
油を売る	82
油をしぼる	82
板につく	83
気が置けない	83
口火を切る	84
さじを投げる	84
じだんだをふむ	85
拍車をかける	85

あいうえおじゅん さくいん



青田買あおたがい

いみ

学校がっこうをそつぎようする
ずっと前まえに、
会社かいしゃがその学生がくせいを
やとうと、きめること。

かいせつ

いねがみのる前まえの、
青田あおたのとき
買かうということから。

青田あおた＝青い田あおたんぼ

(青あおには「みどり色いろ」「みじゅくなな」の
いみもある)



つかい方かた

青田買あおたがいのせいせいで、
おちついて
勉強べんきょうできない。

青田 あお た

7月ごろの田んぼ。
まだ、いねのみは
ついていない。

秋の田 あき た

秋になると、みのって
米ができる。田んぼの色も、
茶色っぽくなるよ。

本当に、みのる前の田んぼは青い ほんとう まえ た あお

ありのはい出^て すきももない

くろおおあり

い^みにげ出^だすための

ほんの少^{すこ}しのすきまもないほど、
注意^{ちゅうい}や用心^{ようじん}がきびしいことのたとえ。

か^いせつ^{せつ}小^{ちひ}さなありでさえ

出^でられないということから。

10



くろおおありの大き^{おほ}さは、
7〜13ミリメートル。

↑これぐらい。

とても小^{ちひ}さなすきまも
出^で入りしているよ。

すきまを
なくしてみた。

出られないよ



ありのはい出るすきまもない
ような用心をして、
たからをまもる。



ほんとうに、ありを通さないと、
すきまをなくさなければならぬ

一目置く

いみ

自分より相手がすぐれていると
みとめて、ゆずる。

かいせつ

困窘で、相手が自分より強いとき、
自分の方がたたかいたやすく
なるように、先に一目
置かせてもらうことから。

つかい方

歌のうまい友だちに
一目置く。



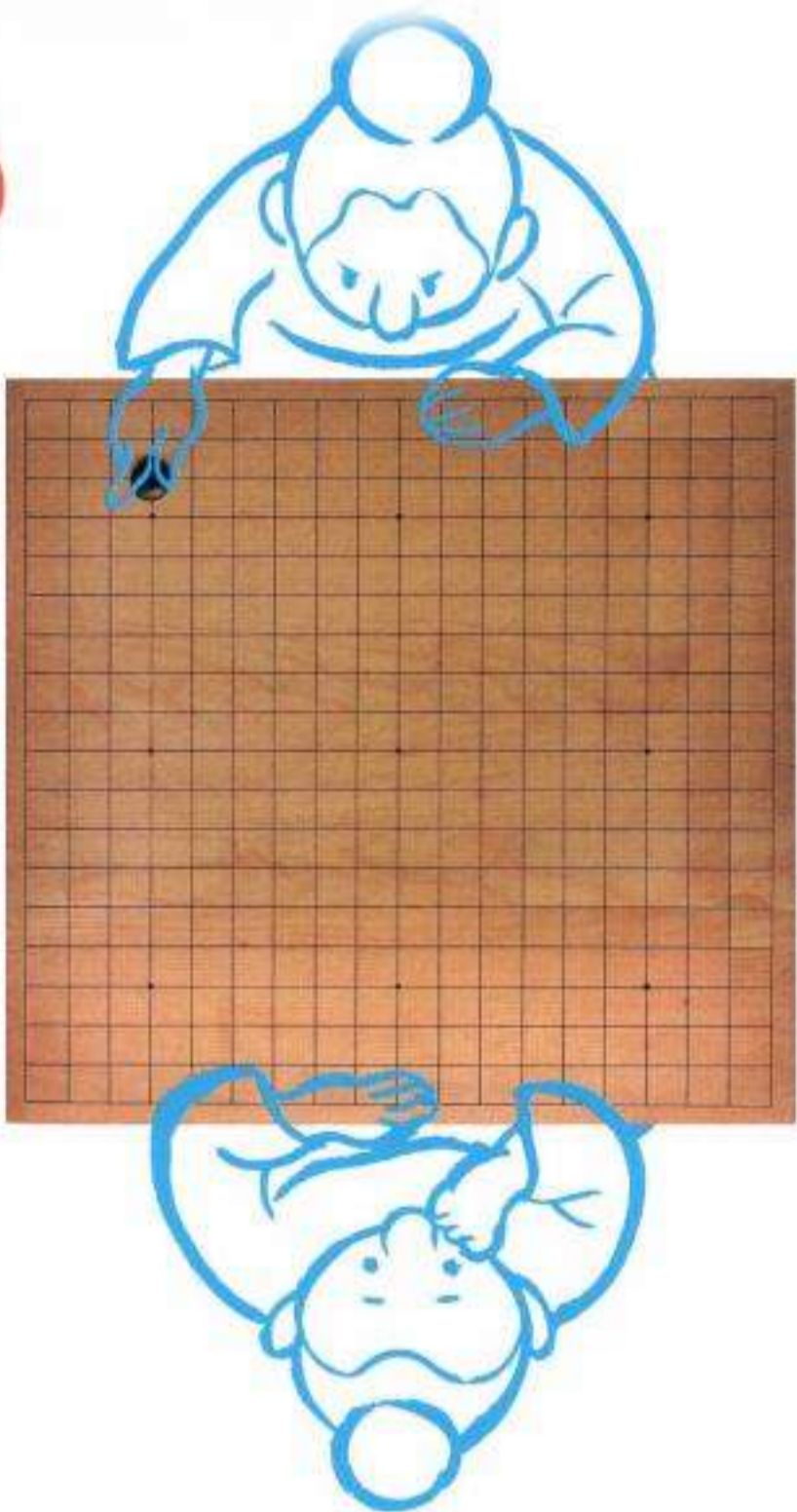
つぎもわざと一目置く

本当に、
すぐれている
人には、
一目置く

強い人

ほかにもある！「囲碁」の慣用語

先手を打つ



いみ ほかより先におこなう。

かいせつ 囲碁や将棋で、相手より先にはじめることから。

先の方が自分によいようにすすめられる。

つかい方 かつためには、先手を打つひつようがある。

駄目を押す



いみ ねんのために、もう一度たしかめる。

かいせつ 囲碁で、両方のさかいにあつて、どちらのものにもならないところを、駄目という。囲碁の終わりに、駄目に石をならべることから。

つかい方 おくれてこないように、駄目を押す。

くちばしが黄色い

いみ

わかくて、けいけんが少なく、
ものごとをよく知らない。

かいせつ

鳥のひなのくちばしが
黄色いことから。



つかい

くちばしが黄色い
わかものには、
しごととは
まかせられない。



つばめのひな

本当に、ひなのくちばしは黄色い

鳥のひなは、親鳥から食べものをもらう。黄色いくちばしは親鳥からよく見えて、食べものをもらいやすいんだよ。でも、てきからもよく見えてしまつてあぶないので、大きくなると黒つぼく目だたなくなるよ。

つばめの親

たががゆるむ

たる



たが

たがをゆるめてみた。

たるやおけは、木のいたを組み合わせ、たがをはめて、しめる。たがは、竹などからつくっているよ。





いみ

きんちようがゆるんで、
しまりがなくなる。

かいせつ

たるやおけは、たががゆるむと、
いたがばらばらになることから。

たが||たるやおけのまわりにはめてある、わっか

つかい方

きびしいコーチが
いないので、
たががゆるむ。



ばらばら～

本当に、たががゆるむと、
ばらばらになる

